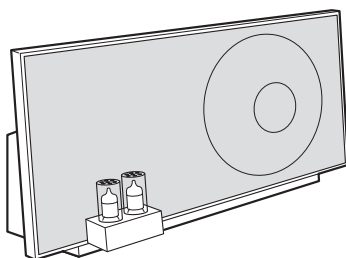


真空管2.1chスピーカー

品番: **MK70** 取扱説明書



■ 安全上のご注意.....	2
■ 使用上のご注意.....	5
■ 各部のなまえ	7
■ 付属品	8
■ 使いかた.....	8
ACアダプタを接続する	8
電源を入れる／切る	8
モードを切り替える	9
操作のしかた.....	9
Bluetooth®モード	10
有線で機器を接続する	13
USBモード	14
AUXモード	14
PHONOモード	15
■ 困ったときは	15
■ おもな仕様.....	17
■ 保証書	18
保証規定	19
■ アフターサービス	20

はじめにお読みください



このたびは弊社の製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みにになり、内容を十分理解されたうえ、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

安全上のご注意




ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになったあとはいつでも見られる所に大切に保管してください。

絵表示について





この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。		禁止の行為であることを告げるものです。		行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
---	------------------------------	---	---------------------	---	-------------------------












一般的な注意事項



 警告	
 ACアダプタを抜く	<p>異常・故障時には直ちに使用を中止する</p> <ul style="list-style-type: none"> ACアダプタやACアダプタコードが異常に熱い。 ACアダプタやACアダプタコードを動かすと通電したりしなかったりする。 異臭や異音がする。 煙が出ている。 本体が変形したり、異常に熱くなる。 <p>火災・感電の原因になります。このようなときはすぐに電源を切りACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社お客様サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。</p>
 分解禁止	<p>機器を分解しない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>
 分解禁止	<p>修理技術者以外の人による修理・改造はしない</p> <p>感電の原因になります。本製品の点検・修理は販売店または弊社お客様サポートセンターにご依頼ください。</p>

 注意	
 禁止	<p>本書に記載以外の用途や方法で使用しない</p> <p>けがや事故の原因になります。</p>
 禁止	<p>業務用として使用しない</p> <p>本製品は一般家庭における屋内での使用を想定した製品です。業務使用や屋外では絶対に使用しないでください。</p>
 必ず守る	<p>ペースメーカーなどの医療機器を使用している場合は、必ず医師に相談のうえ使用する</p> <p>医療機器に悪影響を与えるおそれがあります。</p>
 必ず守る	<p>本製品を使用する際は、必ず接続機器メーカーおよび周辺機器メーカーが指示する警告、注意指示にしたがう</p>
 必ず守る	<p>接続機器および周辺機器の取り扱いは、各取扱説明書をよく読んで、各メーカーが定める手順にしたがう</p>
 禁止	<p>船舶や自動車の直流（DC）電源には接続しない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>








安全上のご注意 (つづき)

電源・AC アダプタコード・ AC アダプタについて

 警告	
 禁止	ACアダプタ・ACアダプタコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない 火災・感電の原因になります。
 禁止	表示された電源電圧、交流 100V 以外の電圧で使用しない 火災・感電の原因になります。
 禁止	ACアダプタ・ACアダプタコードを傷つけたり、破損させない また、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりしない コードが破損し、火災・感電の原因になります。
 使用禁止	ACアダプタ・ACアダプタコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)使用しない そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
 必ず守る	ACアダプタは確実に差し込み、固定されていることを確認する 火災・感電の原因になります。
 必ず守る	ACアダプタは抜き差ししやすいコンセントに接続し、異常が生じた場合は、すみやかにコンセントから抜く 本製品はスタンバイ (standby) ボタンで電源を「切」にしただけでは、完全に電源は「切」にはなりません (通電状態となっています)。
 禁止	ACアダプタを抜くときは、ACアダプタコードを引っ張らない 感電・破損の原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手でACアダプタを抜き差ししない 火災・感電の原因になります。
 禁止	ACアダプタコードを発熱器具に近づけない コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。
 禁止	タコ足配線をしない 火災・感電の原因になります。




 警告	
 必ず守る	ACアダプタプラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着しているときは、乾いた布で拭き取る 火災やショートの原因になります。

設置について







 警告	
 禁止	ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
 禁止	周囲に可燃性のものがある所に設置しない カーテン、じゅうたん、毛布、カバークロス、衣服、新聞紙などの紙、ホコリなどに注意してください。火災・感電の原因になります。
 水ぬれ禁止	水が入る、ぬれるような場所では使用しない 火災・感電の原因になります。海岸、水辺では使用しないでください。また屋外では使用しないでください。
 水ぬれ禁止	本製品を水滴または飛沫がかかる場所に置かない そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
 水ぬれ禁止	風呂場では使用しない 水などをかけないでください。火災・感電の原因になります。
 禁止	次の場所には設置しない <ul style="list-style-type: none"> ・強い磁界が発生する所 ・静電気が発生する所 ・温度、湿度が接続機器の定めた使用環境を超える、または結露する所 ・振動が発生する所 ・平らではない所 ・直射日光が当たる所 ・火気の周辺、または熱気のこもる所 ・漏電または漏水の危険がある所 火災・感電の原因となります。また本製品や接続機器に悪影響を及ぼすことがあります。











安全上のご注意 (つづき)

設置について (つづき)

⚠ 注意	
 禁止	直射日光の当たる所や、発熱器具の近くなど高温になる所に設置しない 機器に障害を与え、火災・感電の原因になります。
 禁止	湿気やホコリの多い場所に置かない 火災・感電の原因になります。
 禁止	調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かない 火災・感電の原因になります。


使用方法について

⚠ 警告	
 ACアダプタを抜く	万一、機器を落としたりして破損した場合は、電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。販売店または弊社お客様サポートセンターにご連絡ください。
 ACアダプタを抜く	万一、水や異物が機器内部に入った場合は、本体の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜く そのまま使用すると火災・感電の原因になります。販売店または弊社お客様サポートセンターにご連絡ください。
 禁止	本製品の上に火のついたろうそくなどの裸火を置かない 火災・感電の原因になります。
 禁止	機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因になります。
 禁止	プラグ・入力端子をショートさせない 発熱・破裂・発火ややけどの原因になります。
 接触禁止	雷が鳴りだしたら、本体やACアダプタに触れない 感電の原因になります。




⚠ 警告	
 必ず守る	小さなお子さまが本製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとでおこなう
 ACアダプタを抜く	長期間使用しないときは、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜く 火災や発火の原因になります。
 ACアダプタを抜く	本製品を持ち運ぶときは安全のため電源を切り、必ずACアダプタをコンセントから抜く 故障や事故の原因になります。
 禁止	機器に乗らない 倒れたり、壊れたりしてけがの原因になります。とくに小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。
 禁止	本体を落としたり、振動を与えない 故障・火災・感電の原因になります。
 禁止	次のような使いかたはしない ・本体を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む。 ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。 火災の原因になります。本体の周囲は10cm以上のスペースを確保してください。
 必ず守る	離れた場所に移動するときは、ACアダプタ・機器との接続ケーブルを外す 外さないまま移動するとACアダプタコードや配線が傷つき、火災・感電の原因になります。
 必ず守る	衝撃を与えないよう、ていねいに取り扱う 製品が破損し、けがの原因になります。
 必ず守る	使用する前に必ず音量を最小にする はじめから音量を上げすぎると突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。
 禁止	大きな音量で長時間聴かない 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴き続けると、聴力障害の原因になります。

安全上のご注意 (つづき) 使用上のご注意

使用方法について (つづき)

 警告	
 禁止	ゆがんだ音で使用しない スピーカーが発熱し、火災や故障の原因になります。

お手入れ・保管について

 警告	
 ACアダプタを抜く	お手入れの際は、安全のためACアダプタをコンセントから抜いておこなう 火災・感電の原因になります。
 禁止	お手入れの際、酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤(シンナー・ベンジンなど)、みがき粉、金属たわしなどは使用しない 変形・変色・キズなどの原因になります。

使用上のご注意

- お客様の不注意による破損・故障・けが・事故・火災に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- 本書に記載のない目的や方法での使用、および指示が守られない場合は、弊社は一切の責任を負いかねます。

本製品の用途について

- 本製品は一般家庭における使用を想定した製品です。業務使用など、その他の用途では絶対に使用しないでください。

制限事項

- **本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失などについては、弊社では一切その責任を負いません。**
- ラジオやテレビ、オーディオ機器などの近くでは誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。
- 強い電波やノイズが発生している場所の近く、2.4GHz帯の製品が多い場所などの場合、ノイズ混入や音切れが発生したり、ほかの無線機器の動作に影響をおよぼす場合があります。
- 本製品を使用して情報漏えいなどが発生しても、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本説明書だけでなく、接続する機器側の説明書もよくお読みになり、使用上の注意などを守ってご使用ください。
- 通信距離が有効範囲内であっても、特定の環境下(人体・金属・棚・壁など)や周囲の電波状況によってはご使用になれない場合があります。

使用上のご注意(つづき)

- 対応している機器でも、機器のバージョンアップなどにより動作に支障が生じる可能性があります。その際の責任は負いかねます。
- 本製品は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任を負いかねます。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断など)に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品を使用する場合、前記の機器や無線局と電波干渉するおそれがあるため、以下の事項に注意してください。
 1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品から移動体識別用構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または電波の発信を停止して電波干渉を回避してください。
 3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社お客様サポートセンターへお問い合わせください。

電波について

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品を、次の場所で使用しないでください。
 - ・ 電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生する所
 - ・ 2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く(環境により電波が届かない場合があります)
- 本製品は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - ・ 産業、科学、医療用機器、アマチュア無線局
 - ・ 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の無線局
 - ① 構内無線局(免許を要する無線局)
 - ② 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
 - ・ 無線LAN製品、無線機能を搭載した製品
- 本製品は、技術基準適合証明を受けていますので、本製品の分解、改造をおこなうと法律で罰せられることがあります。

真空管ユニットについて

- お客様による真空管ユニットの交換はできません。交換する場合は、販売店または弊社お客様サポートセンターにご依頼ください。

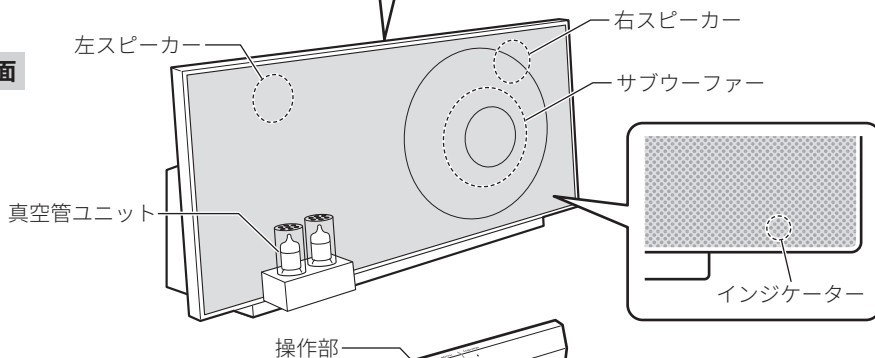
各部のなまえ

操作部 (上部)

操作部はタッチセンサー式です。
操作時は各ボタンの●部分を押ししてください。
(文字部分を押ししても反応しません。)

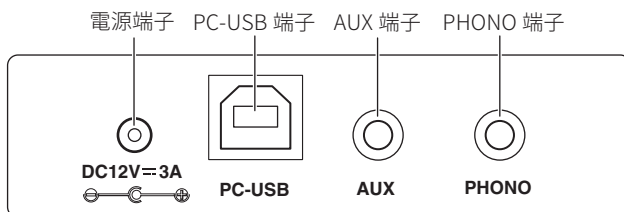


正面



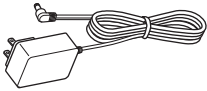
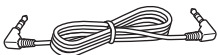
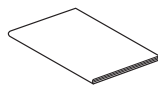
背面

端子部 (背面)



付属品

以下の付属品がすべて揃っているかご確認ください。

		
ACアダプタ 【1個】	3.5mmステレオ ミニプラグケーブル 【1本】	取扱説明書／保証書 【1部】

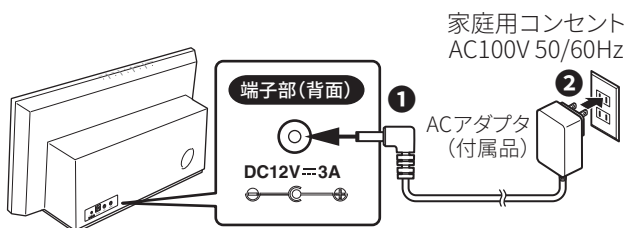
※本書に記載のイラストは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

使いかた

ACアダプタを接続する

付属のACアダプタを本体の電源端子に接続する

付属のACアダプタの本体接続用プラグを本体背面の電源端子に接続します(1)。次に、ACアダプタをコンセントに接続します(2)。



電源を入れる／切る

お知らせ タッチセンサー式について

- ・ 本体の操作部はタッチセンサー式を採用しており、軽く触れるだけで操作できます。**(強く押す必要はありません。)**
- ・ 各ボタンを押すときは、必ず指の腹でタッチしてください。指先などでタッチすると反応しない場合があります。

電源を入れる

スタンバイボタンを押す

インジケータと真空管が点灯し、数秒すると「ポツ」と鳴って電源が「入」になります。

※電源を入れたときはインジケータが緑色に点灯し、Bluetooth®モード(Bluetooth®接続待機状態)になります。

※電源を入れたときの音量は初期値に戻ります。

※モードについては次項「モードを切り替える」をご確認ください。

電源を切る

電源が入っている状態でスタンバイボタンを押す

アラームが鳴ってインジケータおよび真空管が消灯し、電源が「切」になります。

8 ※電源「切」(スタンバイ状態)ではインジケータがゆっくりと赤色に点滅します。

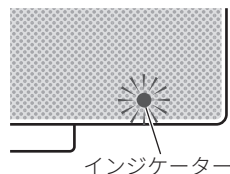
使いかた(つづき)

モードを切り替える

本体のモードボタンを押す

押すたびに「ポツ」と鳴り、下表の順番で切り替わります。
(④ PHONO モードの次は、① Bluetooth® モードに戻ります。)

モード名	インジケータ点灯色
① Bluetooth® モード	緑色
② USB モード*	青色
③ AUX モード	赤色
④ PHONO モード	紫色



* PC用USBケーブル(市販品)が接続されていないときは、USBモードに切り替えることはできません。

※ 各モードについては10～15ページを参照してください。

操作のしかた

音量を調節する

音量調節ボタン(+/-)を押す

押すたびにインジケータが点滅します。
長押しをしても音量の調節ができます。

※ 音量レベルは0～32まであります。(工場出荷時は音量レベル 20)

※ 電源を入れたときの音量は初期値に戻ります。

※ 音量が最大値に達すると「ピーピー」と鳴ってお知らせします。

※ 音量は接続機器側でも調節してください。

その他の操作

音量調節以外の操作については、ご使用の機器側でおこなってください。

使いかた(つづき)

Bluetooth®モード

Bluetooth® (ブルートゥース)について

本製品ではBluetooth®機能を搭載したスマートフォン、デジタルオーディオプレーヤー、パソコンなどの音声をワイヤレスで聴くことができます。

①ご注意

- Bluetooth®対応機器との通信は、見通しの良い場所でおこなってください。建物の構造や壁(とくに鉄筋コンクリート)などによっては通信距離が短くなり、雑音が入ったり通信できなくなる場合があります。
- Bluetooth®接続で使用する場合、無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の近くや電波状態の悪い環境で使用すると、Bluetooth®接続が途切れたり、通信速度が極端に低下するなどのエラーが発生することがあります。
- 本製品が同時に接続できるBluetooth®対応機器は1台のみです。
- 電波を発信する無線機や放送局の近くで正常な通信ができない場合は、使用場所を移動してください。
- IEEE802.11g/bの無線LAN機器とBluetooth®機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害を発生し、通信速度が低下したり接続不能になる場合があります。このような場合は使用しない機器の電源を切ってください。

対応機種

- Bluetooth®対応機器(パソコン・携帯オーディオ・携帯電話・スマートフォン)
 - ※ プロファイル(A2DP)が対応している機器に限ります。
 - ※ 製品の性質上すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

使用方法につきましては
ご使用の機器の取扱説明書
のBluetooth®設定をご
参照いただくか、機器の
製造元にお問い合わせくだ
さい。

本製品とBluetooth®機器をペアリングする

- ペアリングとはBluetooth®通信をおこなうスマートフォン、デジタルオーディオプレーヤー、パソコンなどに本製品を登録させる操作です。
- はじめてBluetooth®接続をおこなうときや、ペアリング登録を解除したときは、ペアリングをおこなう必要があります。
- 機器によりペアリング方法が異なりますので、各機器の取扱説明書に従ってペアリングしてください。
- 本製品のデバイス名は「MK70」です。

使いかた(つづき)

※ 機器やOSのバージョンによってペアリング方法は異なります。詳しいペアリング方法については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

Androidの場合(例)

1 本製品(MK70)の電源を入れる

インジケータと真空管が点灯し、数秒すると「ポツ」と鳴って電源が入り、ペアリングモード(Bluetooth®接続待機状態)になります。

2 ホーム画面で「設定」をタップする



3 「ワイヤレスとネットワーク」から「Bluetooth®」をタップする



4 「Bluetooth®」のスイッチをタップして「ON」にしたあと、「デバイス検索」をタップしてペアリング可能な機器を検索する



5 「使用可能なデバイス」に表示された「MK70」をタップする



本製品から「ピー」と音が鳴ったら接続完了です。

- ※ 接続時に同期の許可を求められた場合は「許可」を選択してください。(機種やバージョンによっては求められない場合があります。)
- ※ デバイス検索で何も表示されなかった場合はAndroid機器のBluetooth®機能をOFFにしてから、再度ONにしてください。また、本製品の電源も一旦切り、再度電源を入れてペアリングさせてください。

6 音楽再生の操作をおこなう

※ 「操作のしかた」(→9ページ参照)

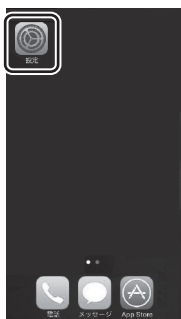
- 機器によりパスキー(PINコード)を求められたときは「0000」を入力してください。

使いかた(つづき)

iPhoneの場合(例)

1 本製品(MK70)の電源を入れる
インジケータと真空管が点灯し、数秒すると「ポツ」と鳴って電源が入り、ペアリングモード(Bluetooth®接続待機状態)になります。

2 ホーム画面で「設定」をタップする



3 「Bluetooth®」をタップする



4 「Bluetooth®」のスイッチをタップして「ON」にする



5 「その他のデバイス」に表示された「MK70」をタップする



本製品から「ピー」と音が鳴ったら接続完了です。

※ 接続時に同期の許可を求められた場合は「許可」を選択してください。(機種やバージョンによっては求められない場合があります。)

※ 「その他のデバイス」に何も表示されなかった場合はiPhoneのBluetooth®機能をOFFにしてから、再度ONにしてください。また、本製品の電源も一旦切り、再度電源を入れてペアリングさせてください。

6 音楽再生の操作をおこなう

※ 「操作のしかた」(→9ページ参照)

● 機器によりパスキー(PINコード)を求められたときは「0000」を入力してください。

Bluetooth®接続の解除のしかた

Bluetooth®接続中に✖ボタン(Bluetooth®接続解除ボタン)を押す

「ポポツ」と鳴り、Bluetooth®が解除されます。

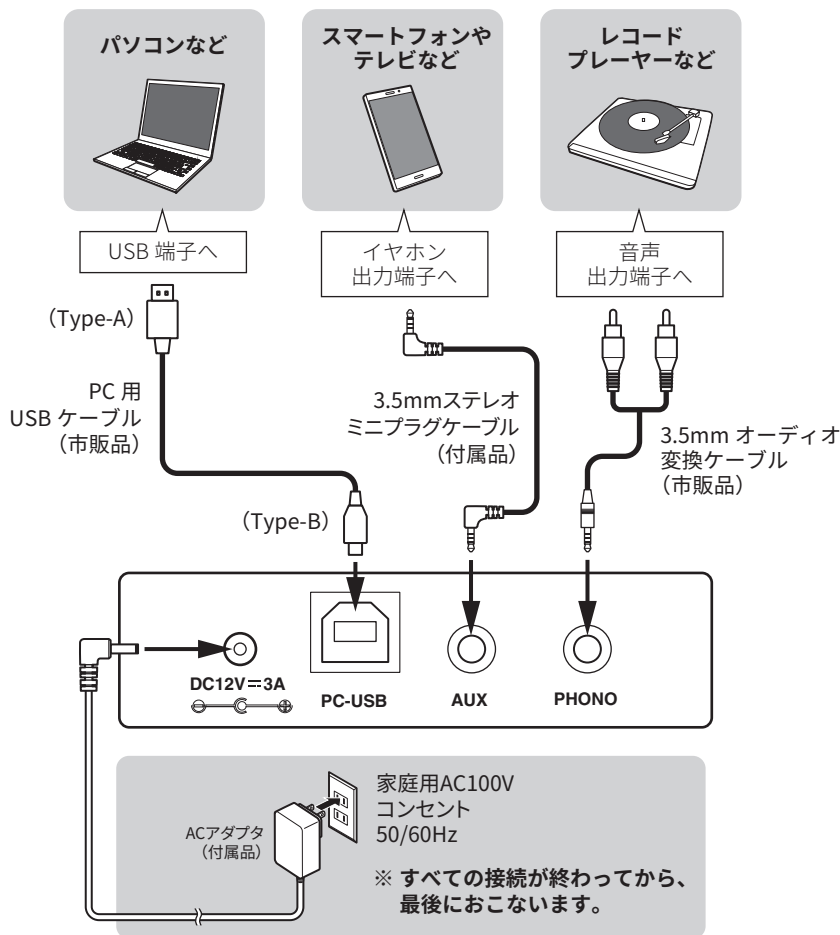
※本製品の電源を切ってもBluetooth®接続は解除されます。

使いかた(つづき)

有線で機器を接続する

本製品はBluetooth®による接続のほか、背面の各入力端子に外部機器などを接続してお使いいただけます。各機器の接続のしかたは以下のとおりです。

すべての接続が終わってから、最後にACアダプタをコンセントに接続してください。



使いかた(つづき)

USBモード

市販のPC用USBケーブルを本製品のPC-USB端子に接続し、接続機器の音声を再生することができます。

※市販のPC用USBケーブルをご使用の際は、端子の形状をよくご確認ください。

※本製品で使用できるPC用USBケーブルの端子形状は「Type-A オス/Type-B オス」になります。

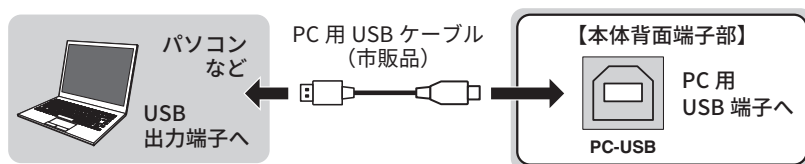
USBモードで使う

本製品のPC-USB端子とご使用の機器を市販のPC用USBケーブルで接続してから電源を入れ、USBモードに切り替える

接続機器側で再生操作をおこなうと音声再生されます。

※「モードを切り替える」(⇒9ページ参照)

※「操作のしかた」(⇒9ページ参照)



AUXモード

付属の3.5mmステレオミニプラグケーブルで本製品のAUX端子と接続機器のイヤホン出力端子などを接続し、接続機器の音声を再生することができます。

①ご注意

- ・本製品に付属以外の3.5mmステレオミニプラグを使用した場合、正常に動作しない場合があります。

AUXモードで使う

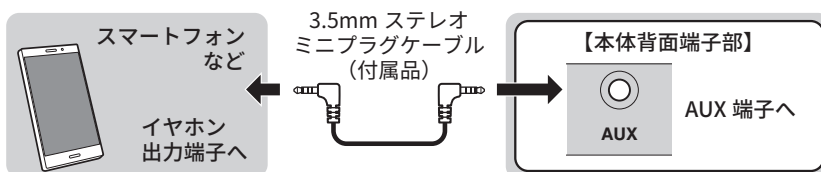
本製品のAUX端子とご使用の機器のイヤホン出力端子を付属の3.5mmステレオミニプラグケーブルで接続してから電源を入れ、AUXモードに切り替える

接続機器側で再生操作をおこなうと音声再生されます。

※「モードを切り替える」(⇒9ページ参照)

※スマートフォンなどに接続するときはカバーやケースなどを取り外して接続してください。プラグが根元まで差し込まれていないと、音が出なかったりノイズが入る場合があります。

※「操作のしかた」(⇒9ページ参照)



使いかた(つづき)

PHONOモード

市販の3.5mm オーディオ変換ケーブルなどで本製品のPHONO端子と接続機器の出力端子などを接続し、接続機器の音声を再生することができます。

※PHONOモードを使用する際は、ご使用の接続機器に応じて接続ケーブルをご用意ください。

※PHONOイコライザー非搭載のレコードプレーヤーなどと接続してください。

※本製品はレコードプレーヤーのカートリッジが「MM型」のみ対応しています。

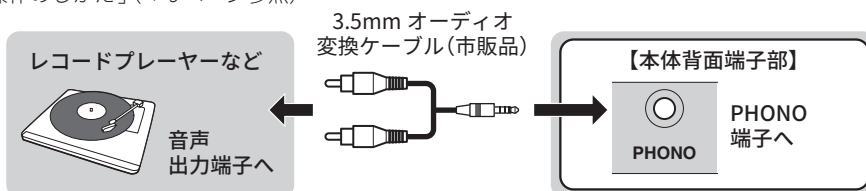
PHONOモードで使う

本製品のPHONO端子とご使用の機器の出力端子を市販の3.5mmオーディオ変換ケーブルで接続してから電源を入れ、PHONOモードに切り替える

接続機器側で再生操作をおこなうと音声が発生します。

※「モードを切り替える」(▶9ページ参照)

※「操作のしかた」(▶9ページ参照)



困ったときは

使用方法を間違えると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下表で確認してください。それでも症状が改善されない場合はお買い上げの販売店、または弊社お客様サポートセンター(▶裏表紙)までお問い合わせください。

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	・ ACアダプタが抜けている、または抜けかかっている。	・ ACアダプタをコンセントにしっかりと差し込んでください。
音が聴こえない	・ ACアダプタが抜けている、または抜けかかっている。	・ ACアダプタをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	・ 接続ケーブル類が抜けている、または抜けかかっている。	・ 接続ケーブル類をしっかりと差し込んでください。
	・ 音量が最小または消音になっている。	・ 本製品、ならびに接続機器側で音量を調節してください。
	・ 機器が正しく接続されていない。	・ 接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	・ 再生したい音声入力を選択されていない。	・ ご使用の機器に合わせてモードを切り替えてください。
	・ 接続機器の入力端子と接続している。	・ 接続機器側は必ず出力端子に接続してください。

困ったときは(つづき)

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetooth® 機器からの 再生ができない (ペアリングはでき ている)	• Bluetooth® 機器の音量が小さい。	• Bluetooth® 機器側の音量を確認してください。
	• 接続中の Bluetooth® 機器で音楽再生を開始していない。	• 接続中の Bluetooth® 機器を操作して音楽再生を開始してください。
	• 使用したい Bluetooth® 機器が A2DP (音楽用プロファイル) に対応していない。	• お使いの Bluetooth® 機器で A2DP (音楽用プロファイル) がサポートされているか確認してください。
	• Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能が無効になっている。	• 接続する Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能が有効であることを確認してください。
	• 本製品とほかの Bluetooth® 機器がペアリングされている。	• ほかの Bluetooth® 機器の電源を切るか、Bluetooth® 機能を無効にしてペアリングを解除してください。
	• 本製品が Bluetooth® モード以外のモードになっている。	• Bluetooth® モードに切り替えてください。
	• 近くにほかの Bluetooth® 機器がある。	• ほかの Bluetooth® 機器の電源を切るか、その機器から離れた場所でペアリング操作をしてください。
Bluetooth® で接続中に雑音やノイズが発生する、音が途切れる	• 接続する Bluetooth® 機器と本製品の距離が離れている。	• 接続する Bluetooth® 機器と本製品を近づけて使用してください。
	• 無線 LAN アクセスポイントや、ほかの 2.4GHz 帯無線機器、電子レンジなどの電波干渉源が近くにある。	• 電波干渉源と思われる機器から離してご使用ください。
	• 本製品と接続機器との間に電波の障害となる障害物などがある。	• 障害物を避ける、あるいは障害物を取り除いてからご使用ください。

おもな仕様

品名	真空管 2.1ch スピーカー
品番	MK70

スピーカー部

電源	専用ACアダプタ	入力	AC100-240V 50/60Hz
		出力	DC12V 3A
消費電力	37W		
待機時消費電力	0.4W		
スピーカー	スピーカー	直径約 45mm 4Ω 2個	
	サブウーファー	直径約 105mm 4Ω 1個	
実用最大出力	スピーカー	6W + 6W	
	サブウーファー	25W	
再生可能周波数帯域	65Hz ~ 20kHz		
S / N 比	≥ 80dB		
入力端子	PC用USB端子、AUX端子、PHONO端子		
真空管ユニット寿命	約 30,000時間		
許容温度範囲	5 ~ 35°C		
ACアダプタコード長	約 1.75m		
外形寸法	約 382 (W) × 141 (D) × 192 (H) mm		
質量	約 2.8Kg		
付属品	ACアダプタ、3.5mmステレオミニプラグケーブル、取扱説明書/保証書		
製造国	中国		

Bluetooth®部

Bluetooth®バージョン	5.0
対応プロファイル	A2DP
通信距離*	最大約 10m
送信出力	Class2

* 使用環境により異なります。

※外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本製品は日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。

※Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。株式会社アズマは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

保証書

品名	真空管 2.1ch スピーカー	品番	MK70
	お名前		様
お客様	ご住所 〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>		
	お電話		
お買い上げ日	20 <input type="text"/> <input type="text"/> 年 <input type="text"/> <input type="text"/> 月 <input type="text"/> <input type="text"/> 日		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間		
販売店	店名		
	住所		
	電話		

保証書 (つづき)

保証規定

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証書に記載の「保証期間」中に故障が発生した場合は、本製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。所定記入欄が空白のままですと、本書は有効になりません。記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。

- お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

無料修理規定

- 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、弊社が無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理依頼ができない場合には、取扱説明書に記載してあります弊社お客様サポートセンターにご相談ください。
- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の転倒、取り付け場所の移動、輸送、落下による故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (ト) 譲渡、転売、中古販売、オークションなどにて入手された場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

※この保証書は本書で明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

- **本製品以外に間接の損害が生じた場合、不具合の原因が本製品であっても補償は致しかねます。**

アフターサービス

- 万一、本体を落としたり、破損した場合は、点検修理を依頼してください。(有料)
- 本製品は家庭用です。業務用としては使用しないでください。
- 本製品以外に間接の損害が生じた場合、不具合の原因が本製品であっても補償は致しかねます。

保証書

本製品には保証書が付いています。保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただいたあと、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

修理を依頼するとき

保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に従って無料修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明の場合

アフターサービスについてご不明の場合には、弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

- お問い合わせの際は「製品名」・「品番」・「症状」をご確認のうえ、お伝えください。

製品名	真空管 2.1ch スピーカー	品番	MK70
-----	-----------------	----	------

製品に関するお問い合わせは

株式会社アズマ
お客様サポートセンター フリーダイヤル **0120-00-8984**

受付時間 午前 10 時～午後 5 時 (土・日・祝祭日および弊社指定休業日を除く)

- ・ 本書に記載された内容の一部または全部を弊社に無断で転載・改変・複写・複製することを禁じます。
- ・ 改良のため、製品の仕様や外観、および本書の内容を予告なく変更することがあります。